

○ 市評価項目・結果一覧

資料4

No.	評価項目	評価点	基幹型包括平均点	地域包括平均点
(1) 組織運営体制等				
1	包括作成ケアプランにおける利用サービス事業所に偏りが無い。3月末時点(同一法人30%未満、又は偏りがある場合は説明できる理由がある)	5	-	5.0
2	要介護者をケアマネにつないだケースの事業所に偏りが無い。3月末時点(同一法人30%未満、又は偏りがある場合は説明できる理由がある)	5	-	5.0
3	業務において得た知識や技術をセンター内でどのように蓄積しているか。また、業務を遂行する上で職員間で相互に経験や知識を補完し合っているか。	5	5.0	5.0
(2) 総合相談支援				
4	圏域高齢者人口(年度当初)に占める相談実人数 ①3%未満、②3~3.5%未満、③3.5~5%未満、④5%~6.5%未満、⑤6.5%以上	5	-	4.7
5	地域のネットワークの構築に向けた活動をしているか(具体的取組と事例) ①地域の関係者、関係機関を訪問し、地域包括支援センターの役割、ネットワーク構築の重要性について周知するとともに顔の見える関係づくりを進めている ③地域の関係者、関係機関との意見交換や関係者間の交流会開催などを実施している ⑤アウトリーチ型相談会の実施、地域の関係者らと協働した取組を行っている。	5	-	5.0
6	区域高齢者人口(年度当初)に占める相談実人数 ①1%未満、②1~1.2%未満、③1.2~1.4%未満、④1.4~1.6%未満、⑤1.6%以上	5	3.3	-
7	ダブルケア相談事業について、対象者の把握や相談窓口の周知を行っているか。 ①実施していない、③実施している、⑤関係機関と連携し、集いの場づくりに向けた取組を行っている	5	5.0	-
(3) 権利擁護				
8	権利擁護(高齢者虐待、消費者被害、成年後見等)について、基幹型包括支援センターや地域包括支援センター等の関係機関と連携し支援しているか。 ※0~10点:相談記録を確認	10	9.7	9.6
9	地域包括支援センターからの相談に対して支援方法を検討し、必要に応じて権利擁護サポートセンターと連携し、適切に支援を行っている事例があるか。	5	5.0	-
(4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援				
10	ケアマネに対して、事例検討会等を通じて、自立支援に向けた包括的・継続的ケアマネジメント業務ができていないか。(具体的取組と事例)	5	5.0	5.0
11	センターの担当圏域内にある「多様な地域の社会資源」について、情報を把握しているか。(具体的内容と手法) ③社会資源に関する資料を常に最新の情報に保ち、地域の関係者や住民に提供している。⑤センターで社会資源マップ等を作成し、地域の関係者や住民に提供している。	5	5.0	4.8
12	ケアマネからの個別事例の相談に対して、継続して支援しているか。 ※0~10点:相談記録を確認	10	8.9	10.0
(5) 地域ケア会議				
13	地域ケア会議の開催や開催支援等を通じて区域の地域課題を把握し整理しているか。	5	5.0	-
14	地域ケア会議の開催状況(地域包括は、担当圏域を対象に実施した会議開催数) ①1回以上、②3回以上、③6回以上、④12回以上、⑤12回以上且つ地域課題を提起した会議を開催している	5	4.4	4.3
15	アセスメント訪問の実施回数 ①0回、②1~5回、③6回以上、④6回以上且つアセスメント訪問で得た知識を圏域内のCMや利用者の支援等に活用している	5	-	3.0
(6) 事業間連携(医介連携・認知症高齢者支援)				
16	医療と介護の連携に向けた取組を行っているか。 ③関係づくりに取り組んでいる、⑤連携したことで効果的な個別支援につながった	5	5.0	4.9
17	認知症高齢者に対して、認知症疾患医療センターや認知症初期集中支援チーム、認知症嘱託医と連携して支援しているか。 ※0~10点:相談記録を確認	10	10.0	9.6
18	民間企業や学校等幅広い対象に積極的に働きかけ、認知症サポーター養成講座、キッズサポーター養成講座を実施しているか。 ①養成講座開催件数5件未満、③養成講座開催件数5件以上、⑤養成講座開催件数5件以上かつ新規連携先の開拓に努めた	5	5.0	3.8